

小學用
算教授書

辻敬之合著
本文十冊 答式五冊

二

大日本教育會總經			
室		第	
一	九		三
五	三	三	三
冊	號	架	函

66
506

K1214
34
2

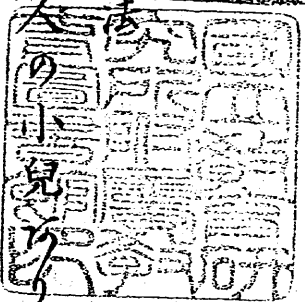
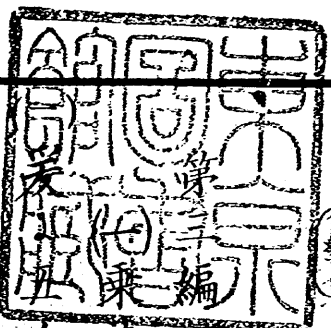
K121.4

3

2

明治二十年六月二十日内務省交付 4547

小學校用 筆算教授書卷之二



辻 敬之
算 昇三
合 著

持するるときは総計幾冊あるや

(二) 机二脚づゝ五行あるときハ机の総數幾許あるや

(三) 七本の杉あり一本毎に七羽づゝの雀止する

表之二

小學校用筆算教授書

東京及合書院版

ときら総計幾羽の雀ありや

(四) 七人の生徒一人より竹五本づゝの筆と持つときら七人の持つ処の筆の數いうん

(五) 爰より八疊敷の坐敷十間より疊の數幾枚ありや

(六) 一組十六人の生徒より一人の生徒が三枚づつ紙と持つときら合せて幾枚ありや

(七) 今商人二十人より五圓づゝ資本金と出し組合高法とあるときら資本金総計幾圓ありや

(八) 大豆一俵の價三圓よりして三十五俵の價幾圓

ありや

(九) 行徳より東京へ通行する蒸氣船の乗客一人の賃錢九錢あり今十一人の乗客あるときら総計幾許の賃錢ありや

(十) 茶商より八箱の茶と買ひしに一箱毎より四十斤と容れたりと因りて問ふ幾許斤の茶ありや

(十一) 一日の二十四時よりして一週の日あり一週の時數幾許

(十二) 爰より勉強生より退校後毎日四十五枚づゝの

復讀とあると今此の生徒一週間即七日の間の復讀する紙數幾許枚あるや

(三) 旅人あり毎日九里づゝ二十五日間旅行あるときい總計幾許里と歩ひや

(四) 米高あり米七十五俵と買ひしよ一俵の價四圓ありと云ふ然るときい幾許圓拂ふべきや

(五) 一箱の價七圓の茶三十二箱と買ふときい幾圓と拂ふて可あるや

(六) 木綿問屋あり一端二圓とて三百七十五端の結城縞と買へり此の金額いうん

(七) 一都會あり戸數二千七百五十一あり今平均

毎戸よ五人つゝとせば総人員幾許あるや

(八) 大阪の商人七人同時よ横濱よ來り洋品と仕入れんとするよ每人の所持金二万三千四百五十圓あるときい五人の所持金合して幾許ありや

(九) 機屋あり三年間即一千九十五日の約束して織女と雇ひしよ此の織女毎日五尺の布と織るときい年期中よ幾許の布と織り得るや

(十) 爰よ七人の筆耕あり筆耕毎よ一万二千三百

四十五字と騰寫せるとせば七人の騰寫せらる
字數幾許

(世) 一人の筆工なり一日に於て七時間づゝ一年
間即三百六十五日働くときは此の筆工の働
く総時數いらん

(世) 一升の米粒の平均六万四千八百二十七粒なり
今五升の米なり幾粒あるや

(世) 機械と以て羅紗と織れば毎日二千三百五十
八尺と織り出せると得べしと今此の機械と
以て一週間即七日の間織るとは総計幾許

の羅紗と織り出せると得らるや

(世) 或る工夫七人組合と結び鐵道會社に雇われ
し毎人得る處の年給二百九十八圓ありと
せば組合連中より於て得る處の給金幾許

(世) 某の公園に於て櫻花と觀しし其の内最老木
より最花の繁多ありしれ七本あり今此の
木毎の花數平均六万四千八百二十七輪あり
とせらるるときは最老木より開きし櫻花の總數い
らん

(世) 七人の留學生と海外へ派遣せしし毎人卒業

まぐで學資金三千二百三十五圓と要まると然ら
るときは總計幾許金と要まるとや

(其) 西京の三十三間堂の佛の數が三万三千三百
三十三躰ありて每躰七本づゝの線香と供へ
るとせば總計幾本の線香と要まるとや

(其) 或人十二時より電光と見て十二時五分より於て
雷聲と聽きと今音響の速力は一秒時間より
百八十七間より達まるとせば其の速さ幾間あり
るや但一時より六十分一分より六十秒

(其) 豪農ありハウ所より土藏と建て置き毎年毎土

藏へ二千七百九十八俵の米と積込むと云ふ
然るときは此の豪農一年間より積込む所の米
俵のうん

(其) 通常人の一分時間の脈度と平均六十五度と
はるときは九分間の脈度の總計幾度あるや

(其) 豊臣關白の小田原城と攻撃せるとき某將の
言と用ゐる某山より城壘と築き一ム一夜より
落成せり今此の人夫と五万三千二百五十人
と算し之より五圓づゝの賃金と與ふるとせば
總金のうん

(丑) 五葉、松ハ松葉五本と以て一葉とシ今爰ハ一本の五葉、松ハりて六万七千八百九十一葉ハりとせば松葉の數幾本ハリヤ

(寅) 扇子屋ハり毎年三万二千七百五十六本と製出ると今此の扇子の骨と平均八本とするとさハ一年間ハ製出する扇子の總骨數ハ何ん

(卯) 或る算術學校ハ於て一年の中暑中休業、日曜日等と除き三百十五日間教授するハ今此の學校の入塾生毎日算術七題づゝ學ぶときハ一年ハ於て幾許の算題と學び得るヤ

(辰) 某の海邊ハ於て貝と拾ひハ一五籠ハ満てりと今一籠の貝數千二百三十四とあるせば總貝數幾許

(巳) $256 \times 3 \times 5$?

(午) 百三十五個と六倍せしめれば七倍ハ幾許なるヤ

(未) 千二百三十四圓の五倍の八倍ハ幾圓あるヤ
 (申) 筆耕ハり毎日七時間づゝ働き一時間ハ二千五百四十六字と騰寫するとせば此の筆工三日働き幾許字と騰寫し得るヤ

(甲) 五人の米高より每人五ヶ所の米藏と所持と
 と今此の毎藏の米二千三百四十五俵と
 ときい総米何俵なりや

(甲) 三人連れりて伊勢参宮とるなり今此の人毎
 人一日は八里づゝ歩み八日の間旅行とると
 きは三人の旅行せし総里數いらん

(甲) 一升枡の口四寸九分四方よして深さ二寸七
 分なり今此の分積いらん

(甲) 學校の授業時間ハ五時間と以て通例と
 一年間開校日數ハ平均二百五十四日とせば簡

易科學期即三ヶ年間ハ幾許の時數なりや

(甲) 爰ハ九人あり每人九個の袋ハ九升づゝの米
 と容れたるものと持てり然るときい総計幾
 許の米なりや

(二) 除法

(甲) 二十四圓と二人ハ配分されいらん

(甲) 三十六枚の紙と三人ハ與ふるときい毎一人
 の所得幾枚なりや

(甲) 四人より四十八本の筆と持つときハ一人の

持つ筆幾本あるや

(哭)五人組合して金五十五圓の金時計と買ふときん各人の出金幾圓あるや

(哭)月給六圓の雇人が七十二圓の前借とあせりとせは前借と皆齊せらるる幾月勤むべきや

(辛)毎日七錢づゝの小遣とあるを小児りりて八十四錢と費せりと其の日數いうん

(至)爰に九十六貫目の荷物りり之と八人よ持たせんとするふい各人よ幾貫目持たせと可なるや

(至)某數に九と乗ぜし數に八十一ありと云ふ某數に幾個あるや

(至)二人の生徒が百六十四枚の書籍を騰寫せんとするふい每人何枚づゝ騰寫して可あるや

(至)甲平乙吉丙六の三商人結社して商業と營み二百七十六圓の利益と得たり之と等かせは各幾許金と得るや

(至)三百六十日と春夏秋冬の四季よ分てバ一日の日數幾日あるや

(至)人身よい耳、目、鼻、口、皮膚の五官りり今此の五

官を以て一人と算し爰は四百七十官ありと
きい人負いん

(丑) 一間の長さ六尺あれば五百五十二尺の間敷
して何程となるや

(寅) 一週間即七日の間一日の日曜日あり今
六百四十四日の間幾日の日曜日ありや

(卯) 八人力の勇士若干人あり七百七十六人の兵
士は敵對せしむ其の力相等しと勇士の人負
いん

(辰) 某數あり九と乗れば八百九十一個とある

と云ふ問ふ某數幾個あるや

(巳) 或る都府に於て本町新町の人口と算せし
三千五百六十二人あり平均各町は幾人宛な
るや

(午) 道路と修繕せし其の費用四千二百六十圓
あり今之を三村へ等しく分賦せらるるときは一
村の出金幾許あるや

(未) 某佛の開扉に於て東西南北の四村より参詣
せらるもの五千三百四十八人あり平均一村よ
り幾人の参詣ありや

(奎) 公侯伯子男の五人よて六千八百七十五万石
と領せしとき之と各人よ等分せしとき各
幾万石と領せしや

(奎) 天地四方と稱せし大六合并り今此の并り以
て世界の山川と量りし大小平均して七千三
百三十二と容りとせば一合并り容る処の山
川平均幾許ありや

(亥) 關東八州の大小山川と合して八千八百七十
二とありしとき平均一州よ幾許の山川あり
や

(丑) 七日と以て一週日とせしとせば八千七百五
十七日の幾週間ありや

(亥) 或る野蠻國よ於て九千三百七十八圓の罰金
よ處せしれ之と高祖より玄孫よ至る九族よ
り等しく出金せしよハ毎族幾圓ありや

(亥) 或人一日よ二時間づゝ騰寫し其時日よ於
て一万九千八百七十四字と騰寫し得たりと
今此の人同し働きて毎日の騰寫時間と一
時間よ減らるゝ同時日よ於て幾字と寫し得
るや

(キ) 一步三尺にして六里の距離に達せんといふ幾歩
 して達し得べきや但六里は七万七千七百六十尺

(圭) 一日は四里づゝ歩行する童子あり五万九千九百二十里の道と往うんといふ幾日して到着し得るや

(圭) 金七万六千三百八十五圓と以て一石の價五圓の米と買ふといふ其の米いかに

(圭) 甲處より乙處に架せし電信線の長さ十四万三千八百五十六尺ありと云ふとき之と間敷

して測らば幾許間あるや但一間は六尺

(圭) 或人車輪の周囲七尺ある人力車に乗し一万五千八百四十一尺の処に至らんとせば幾廻轉して達し得るや

(圭) 一時間より八里づゝ進行する蒸氣船に乗し一万二千三百四十四里の処へ航海するといふ幾許時して到着し得るや

(圭) 五十四万四千八百六圓の價の鐵道と九人の組合して買ひ求めんとするといふ平均一人より幾許圓と出して可あるや

(五) 二十一史ハ大約二千五百五十卷なり或人之
 と一日ハ六卷づゝ讀まば幾日〜で讀み了
 ると得べきや

(六) 賤ガ岳の戦争よ於て柴田勝家の軍勢三万ハ
 千七百五十二人と加藤清正以下の七本鎧
 て打ち取り〜とのとせば平均一本の鎧よて
 幾人と打ち取り〜や

(七) (一) (二) (三) (四) (五) (六) (七) (八) (九) (十) (十一) (十二) (十三) (十四) (十五) (十六) (十七) (十八) (十九) (二十) (二十一) (二十二) (二十三) (二十四) (二十五) (二十六) (二十七) (二十八) (二十九) (三十) (三十一) (三十二) (三十三) (三十四) (三十五) (三十六) (三十七) (三十八) (三十九) (四十) (四十一) (四十二) (四十三) (四十四) (四十五) (四十六) (四十七) (四十八) (四十九) (五十) (五十一) (五十二) (五十三) (五十四) (五十五) (五十六) (五十七) (五十八) (五十九) (六十) (六十一) (六十二) (六十三) (六十四) (六十五) (六十六) (六十七) (六十八) (六十九) (七十) (七十一) (七十二) (七十三) (七十四) (七十五) (七十六) (七十七) (七十八) (七十九) (八十) (八十一) (八十二) (八十三) (八十四) (八十五) (八十六) (八十七) (八十八) (八十九) (九十) (九十一) (九十二) (九十三) (九十四) (九十五) (九十六) (九十七) (九十八) (九十九) (百)

(八) 福助大吉の二人社と結び商業と營み〜に三
 日の間ハ三百二十四圓の利益と得たり之と

兩人等分せり各一日の益金幾圓あるや

(九) 兄弟三人三日の間歴史と復讀せ〜合〜
 三百五十一枚と復讀し得たり然るときハ平
 均一人一日ハ付幾枚と復讀せ〜や

(十) 筆ハ二本と以て一對となれ今四百四十八本
 の筆と四人の童子と與へんとせり〜ハ平均
 一人ハ付幾對づゝと得るや

(十一) 爰ハ饅頭六百個あり此の饅頭と五個づゝ色
 み一人の生徒と二色づゝと與へんとせり〜
 ハ幾人の生徒と與らると得べきや

(金) 七百二十九と九と以て除く更し之と九とて除かれバ其の數幾個とあらや

(全) 爰は書籍三百六十巻あり之と六冊と以て一部とあり六人の商人より賣り渡るとき平均一人の商人より幾部づくと賣り渡すべきや

(全) 官負七人にて一週間即七日の間より九百八十圓の給金と得たり然るとき此の官負一人の日給平均何程あらや

(全) 七十八万七千八百八十圓の金と七人組二組へ分賦せらるると此の平均一人より付幾圓と得らや

(全) 五百三万二千百七十圓の價あり鐵道の九分の一と五人より負擔せんとする平均一人の負擔金幾圓あらや

(三) 乗除法

(全) 桃十五個の四倍と二人の童子より等しく分與せるときは毎童得る處の桃幾個あらや

(全) 爰は紙十八枚あり之と六倍せしものと三人の小供が等分せらるると此の毎人の得る紙數い
らん

(空)二う所の道普請をなせし各道の費用六十
四圓あり之と東西南北の四村より平均出金
せらるるときは毎村の出金幾許あるや

(空)五人社と結びて三日間商業と營みし毎日
益金百二十圓と得たりと之と各人し配當を
らとせし所得金幾許あるや

(空)爰し金四百五十圓あり之と五人し等分せん
とせらるふ三人分の所得幾許あるや

(空)二千四百六十尺の道程と車輪の周囲六尺の
人力車と並馳せらるときは兩車の廻轉數共し

幾度しして到着し得るや

(空)四百三十四圓入の金囊三個あり之と七子し
等しく分與せらるときは毎子の得る處幾圓を
らや

(空)某の邸内し於て三の家屋あり坐敷の數ハ孰れ
も同様しして各坐敷の畳數ハ八畳あり而し
て每家屋の畳の總數ハ六十四畳あり然る時
ハ三の家屋し於て坐敷の數幾間あるや

(空)九州し於て公私立中學校の總計ハ三十六校
の八倍ありとせらるときは毎州し於て平均幾

校公私立中學校有りや

(突) 大阪城に於て秀頼の兵と擧げるとき城内へ
集まる處の歩騎兵共は六万人にして東西の
兩軍と合せるとのい大畧は九倍せりと云ふ
今仮し之と東西兩軍は等分するときは各軍
幾許の兵士有りや

(兎) 甲吉乙松の兩人結社して交易せし毎日利
益する處八百圓にして商業と営むと七日お
りと云ふ然る時各人の益金平均幾圓ある
や

(百) 若干金有り其の金の五分の一と二倍せしも
のい二千四百圓あり然るときは若干金以の
ん

(巨) 爰は米三千六百五十俵有り之と八倍せしも
のと五人は等分するときは每人得米幾俵な
らや

(亘) 機女七人有り毎日布と織るを若干尺にして
九日の間は五百四尺ありと云ふ然るときは
毎日一人は付幾尺と織り得らや

(皇) 爰は雞卵二百七十個有り之と五倍せしとの

と九人ノ等分するときは各人の得る雞卵幾個ありや

(百) 某都府に於て東西南北の四區に分つあり其の各區の人口六十八万七千九百六十人あり今此の都府の人口と五區に等分するときは每區の人口如何ん

(百) 前題に於て九條の大路に區分するときは一 大路の人員平均幾許ありや

(百) 工兵七人より長さ五間の胸壁と築くゆり然るときは二千五百九十人より幾許間の胸

壁と築き得るや

(百) 三万二千七百六十里の道程と七倍せしものと九ヶ月に往くんとするは毎月幾里と旅行して可ありや

(百) 七千五百十七万六千六百四十個の三分の一の二分の一は幾個ありや

(百) 又七千五百十七万六千六百四十個の九倍と七除せし數は幾個とありや

(百) 或人一ヶ月の収入は二百五十圓あり今其の月入三月分を以て一ヶ月の學資八圓と要する

書生幾月と養育し得るや

(五) 上戸有り酒若干樽と貯へ毎日三合づゝ飲み
しよ七十五日よ於て飲み盡せり今此の人毎
日五合づゝと飲みしよとバ幾何日よて盡く
るや

(五) 一箱よ七つ宛入れたるボタン三百四十五箱
有り之と一枚の襦袢よ五つ宛付くるときい
何枚の襦袢よ付け得るや

(五) 六人の兒童相集りて八籠の蛤と拾へり一籠
の蛤三百五十六個ありとせば一人の兒童の

得るとあら幾個あるや

(五) 四國の狸ハ六千五百二匹有り犬ハ其の二倍
しよ猿ハ犬の三倍あり一國よ猿平均何匹
居るや

(五) 某數有り之よ九と乗ト七と乗ト六しよ除ト
れバ三千九百六十九個ありと云ふ某數幾何

(五) 家數軒とくら人節分の夜よ豆五千三百二十
八粒と毎家の四方へ一握りづゝ撒く一握り
の豆ハ六粒ありと云ふ家の數ハ何軒あるや

(五) 船人七人八百三十三里の海路と一里二圓の

賃銭して生糸と運送し其の得金の四分の一
と各等分よ分配せりと云ふ一人の所得幾何
(冥) 二十四方の唐紙五十六枚と貼りたる襖三百
八十七枚有りされと三寸四方の白紙よて貼
り換へんとは白紙何枚と要するや

(皇) $59 \times 6 \times 2 = 3 \times 7$

(皇) 五人の豪商各八ヶ所の金庫を所持せ然るは
其の各金庫よ十二万三千四百五十圓を貯ふ
今之を三人よ等分し各人五ヶ所の金庫に等
しく貯ふるは一庫に幾何金を貯ふべきや

第四編

(一) 乘法

- (一) 十人の子供有り一人よ十個づいの球と與ふ
れば幾個の球と要するや
- (二) 金二十一圓有り之と十一倍せよ
- (三) 十二の箱有り一箱よ米三升五合づい入れ惣
石高と云ふ
- (四) 一人よ布一丈二尺づい與へるは十四人よい
何程の布と與るや
- (五) 金百圓づい十六人よ分配せり惣金高いくん

- (六) 一時より二十五里と走る船より十八時間より何里と走らや
- (七) 音は一秒より百八十七間より達を今電光と見て後十九秒と経て雷聲ときくとき其の遠さ幾間ありや
- (八) 毎日六十五枚の書と讀む二十日より何枚と讀むや
- (九) 米倉二十二ヶ處より一倉より米七十二石と入る惣石高とよふ
- (十) 碁盤の目の縦より十九横より十九より全盤面の

- 目より何程ありや
- (十一) 一日より二十五錢の賃と得る大工百八十五人あり何程の賃錢と得るや
- (十二) 一冊の書と寫すより三十六時間と要を二十七冊と寫すより何時間と要をらや
- (十三) 一枚の衣服より二丈八尺なり百五十八枚の衣服より何尺ありや
- (十四) 一ヶ月の費用三十二圓五十錢あり三十ヶ月の費用とよふ
- (十五) 一の數より之と三十二より除をれば二百八

とある此の數ハ幾何

(六)蜜柑三十五箱と買ふ一箱ハ五百個と入る惣
べての蜜柑ハ幾個あるや

(七)一隊の兵卒ハ八百人あり三十八隊の兵卒ハ
何人あるや

(八)正列せらる林の木と數ふるハ東西の列ハ四十
本より南北の列ハ千二百本あり惣べての木
ハ何本なり

(九)甲乙の數あり甲ハ三千四百二十個より乙
ハ甲の四十九倍あり乙の數とどう

(十)電信の速力ハ一分時より一千七百二十八万里
あり五十八分時より何里達するや

(十一)無病の人の脈ハ一分時より七十六度とどう一
千四百四十分一晝一夜時より何脈ハ何程

(十二)讀本一枚の文字ハ四百四十字あり八十八枚
の文字とどう

(十三)學校と建るに一万三千人の工夫と要を一人
の賃錢九十五錢づつと拂ふときハ惣計何程
の工錢と要するや

(十四)米十石あり之と百倍をべし

- (三) 一馬の脊負ふ荷物ハ四十五貫六百交あり一
千五百六十二馬の脊負ふ荷物の貫交ととふ
- (二) 東西二万六千五十七間南北三千四百八間の
平原あり其の坪數幾何
- (一) 蒸氣車一分時ハ五十二町と走るともれば二
十四時間ハ何町とゆくや但一時ハ六十分
- (一) 奥行二十五間間口百間の地面あり一坪と一
圓二十五錢にて賣れば何程の金と得や
- (一) 兵士一日ハ六合五勺の飯と食ふ三百人の兵
士三百五十日ハ何程の飯と食ふや

- (一) 一反の田ハ二石八斗五升の麥と收ハ二町三
反の田より得る金高いうん但麥一升ハ五錢
八厘
- (一) 瓦屋根ハ一坪ハ瓦六十枚と要も今瓦一枚一
錢二厘あるとき千三百七十二坪の屋根と葺
く費用ととふ
- (一) $1000 \times 200 \times 300 = ?$
- (一) 三人の豪高あり甲ハ五十六方七千八百二十三圓四
十錢の米と有乙ハ其の百四十八倍と等し
き田地と有丙ハ乙の千五十二倍ある鑛山

と有ると云ふ所の所持せる鑛山の價幾何

(罍) 一間の道路と開くは二圓七十八錢の費用と
要と三百七十里の道路と開く費用と問ふ但
一里は三十六町一町は六十間

(罍) 豆一合の價一錢八厘あるとき豆三百八十五
俵づゝ入る倉三十二ヶ所とひらきこれと
賣拂ふて得る金高ととふ但一俵は四斗八

(罍) 一枚の文字五百五十字して一冊の紙數は五
十五枚ある書籍三百七十九部の字數ととふ
但一部は十二冊と

(二) 除法

(罍) 金廿圓と十人よ分配せよ

(罍) 梨十一個と十一人の児童よ分配せばいん

(罍) 百二十人と十二ヶ所よ配當せば一ヶ所幾人
とありや

(罍) 田三町九反と十三人よ等分せば各所得幾何

(罍) 鉛筆三百九十二本あり之と十四本づゝの束
とありや

(罍) 石炭一万斤と十六艘の船よ積すば一艘よ幾

斤とつむや

(至) 十八羽の雞卵トウモロコシ五千五百八十と生り一羽の雞ハ幾つと生み_レや

(至) 一の數あり之ハ十九と乗れば三千七百二十四個とあり其の數幾何

(至) 二十日よて六千七百八十里の地ハ達せ_レ船あり一日ハ何里と行き_レや

(至) 腐れたる魚八百九十七匹あり之と二十三人の乞丐ハ與ふ一人何匹と得_レや

(至) 千丈の布よて二尺五寸の手拭幾筋と得_レや

(至) 二十七日間ハ二千八百三十五羽の小鳥と得

し人あり一日ハ得ら_レとあり幾ひきある_レ

(至) 三十三間堂の佛の數ハ三十三万三千三百三十三体あり堂一間の中ハ何体と安置せらる_レ

(至) 茶三十五斤の價七圓五十六錢あり一斤の價ととよ

(至) 四十四日の間ハ二百二十三石九斗六升の米と眷く一日ハ何石と眷くや

(至) 四十九人よて商社と組み十二万五十圓の金と集めたり一人の出金何程ある_レや

(空) 柿四万千八十九個と二十五個餘し外悉く之
 と五十八人の児童よ亦ち與へたり一人の所
 得幾何

(空) 一輛の車よ米六十四俵と積む十萬俵ハ車何
 輛よ積むや

(空) 或戰よ毎日兵士七十二人づゝ死を五千百八
 十四人の何日よて盡くるや

(空) 日本全國よ二万三千七百三十方里とせれば
 之よ八十四國よ平均して一國何程よ當る
 や

(空) 一日よ縮緬九尺八寸と織る百二十丈五尺四
 寸と何日よ織るや

(空) 百人の職人工錢五百四十二圓五十錢と得た
 り一人幾錢と得るや

(空) 麥粉百万斤と一袋百二十五斤入りの袋よ包
 ひときい何包とあるや

(空) 一反の木綿一圓四十八錢あるとき六百七十
 四圓八十八錢よ何反と得るや

(空) 半紙一枚よ百七十五字と書せば十一万八千
 六百五十字ハ何枚よ書し得るや

(圭) 二十町五反の畑より芋一万六千三百三十八貫五百文と収入せり一反の畑より何程と得
々や

(圭) 漁師二百六十七人よて鯿八十万九千五百四十四匹と得たり一人の所得幾何

(圭) 同敷の金と持てる商人三百九十人より其の金の惣高ハ一万九千七百七十三圓なりと云ふ一人の所持もるとり何程あるや

(圭) 年よ一万三千圓と得る人あり一年の末よ二十一圓三十七錢五厘の借金とあると云ふ毎

日の費用いふん但一年ハ三百六十五日

(圭) 1522456 + 1234 ?

(圭) 六万二千七十人の巡查り之と每一時間よ二千六十九人づゝ交番せしむるときい同一の人何時間目よ當番とあるや

(圭) 一つの穴よ羽蟻三千五百二十七匹住む二兆四千八百億三千八百九十四万三千百八十四の羽蟻ハ何程の穴よ住むや

(圭) 八千百五十八億千八百十四万四千五百九十六羽の雀相集りて合戦とる然る毎日本

千四百七十六羽づ、飛び去ると云ふ幾日よ
しく雀盡るや

(堯)百二十七億四千五百七十九万六千三百八十
六圓五十四錢の軍費と九十九万二千四百八十
八戸の人民より徴集するるとき一戸の出金幾
許あるや

(今)鉄筆六百二十四本と十二本づゝ一箱とし十
三箱づゝ一捆とすれば惣べて何捆とあるや

(全)鹽一斗よ付二十四錢あるとき六百九十圓よ
て鹽若干と買い更よ一斗二升五合入りの俵

よ作るときい何俵とあるや

(全)一斤の人参五十八圓あるとき一万七千八百
六圓よて人参若干と買い三百七人の医者よ分
配せり一人の所得幾斤あるや

(全)一日よ一貫五百匁づゝの炭と使用し若干月
よて四千九百五十貫匁の炭と使ひ盡したり
と云ふ若干月とい幾何但一ヶ月い三十日

(舍)木挽百二十人三百四十五日よて百九十四
万五千八百本の雑木と伐りたりと云ふ一人
一日よ何本と伐りたりや

(全) 羅紗九百七十六卷と二万八千六百九十四圓四十錢と買ひたり一卷の長さ三十尺とて
まづ一尺の價幾何

(全) 船一艘と四百八十六日間借り船賃五万七千百五十三圓六十錢と拂へり然るに此の船に乗る人九十八人ありと云ひ一人一日の船賃幾何ありや

(全) 一年の三百六十五日と一日の二十四時一時の六十分あり然らば四百二十万四千八百分何年ありや

(父) 一里の三十六町一町の六十間一間の六十寸あり一億一千七百五十四万七千二百寸は何里ありや

(完) 釣鐘と提灯とを比べに釣鐘の重さ大佛千三四百五十貫の重さの百分の一とて提灯の風船千六一千五百五十貫の重さの百分の一ありと云ふ釣鐘の重さ提灯の何倍ありや

(三) 乗除法

(全) 一籠の青串魚三十匹と入るもの七百六十

八籠りり之と九十六人よ分與せば一人各何匹と得らや

(空)美濃紙一帖ハ四十八枚り然らバ六百七十
九帖の美濃紙よて一冊百十二枚づいの帳面
幾冊と造り得らや

(空)十万字り書物と紙一枚よ縦二十字横二十
字づい認めらば何枚よて盡らや

(空)一日よ米五合五勺と食ふ人七十二人りり九
十九石の米ハ幾日よて喰ひ盡らや

(空)千二百五十坪の地面り此の地面より興行

二十五間間口五間の屋敷地幾ヶ處と得べき
や

(空)一艘よ砂糖三万斤づい積む船七百六十五艘
入津せり之と一苞百二十五斤入りの苞とあ
まば幾苞とあらや

(空)右の砂糖と一輛よ二千七百斤づい積む車よ
て運送せば何回よて運び終らや

(空)右の題よて右の砂糖と惣て千七百二十一万
二千五百圓よ賣りたり一斤の價幾何

(空)其數りり之よ九百五十二個と乗ト千八十八

個より除まれば二百三十八個とある其數幾何

(兎) $(9801 \div 99) \times (4444 \div 88) ?$

(百) 高さ三万六千四百尺の山あり一時間一十九百尺づゝ歩む人此の山より三回上下する時間

幾何

(巨) 鳥より一時間一六十八町と翔り毎日十六時間づゝ飛ぶ廣さ七十六万五千九百五十二町ある海へ何日よ渡るや

(巨) 千兩箱四十六個より之を若干の親族より分配

をくらに其の人數を知らば唯云ふ一人より八百四十圓づゝ與ふれば二百圓不足をくらと云ふ人數如何

(巨) 一把三十六本束ねの薪四千六百七十五把より之を毎日九十九本づゝ焚くとまら何日よて盡くらや

(島) 漁夫五百八人よりて漁を多し八十七回網をひろし一網より四十八圓二十六錢づゝの利を得たり漁夫一人の所得とをよ

(巨) 鬼十匹と麥一石と價相等しきとき麥七千六

百九十二石と以て諸六十九万二千二百八十貫目と交換し損益ありと云ふ鬼一匹の諸幾許に當りや

(夏) 小兒百八十五人あり一人に付一ヶ月牛乳六升九合づゝと與ふと云ふ此の牛乳と得るふは母牛何頭と要するや但牛一頭より得る牛乳は一ヶ月五斗五升五合

(夏) 金魚百二十八匹あり九年の末に其の數増して其の二百六十七倍とあれり之と八千五百四十四個の盆池に放つときい毎池の金魚幾

也とありや

(夏) 一方里の四百六十六万六千百廿坪あり之と小作人毎一人に一反四畝四歩配當をれば何人の小作人に割當ると得べきや但一畝は三十坪

(夏) 一日の二十四時より一時の六十分ありされば八十一分間より一里と走る船は百五十三日間は何里とゆゝや

(夏) 一匁の價一錢八厘の茶六千五百七十匁あり之と一斤四十三錢八厘の真綿と交易せば真

綿何斤と得らや

(算) $184950 \times 64 \times 4006 + 1044$?

(算) 商人あり毎日平均七百九十二圓づゝの利益

あり五年の終りよ之と等分して毎一人千〇

九十五圓づゝと得たりと云ふ商人の數ハ何人

ぞや

(算) 高さ十四尺長さ四千八百九十六尺の塀と一

枚の積九十六歩一歩ハ一丈四方と云ふの板よて覆らん

と板何枚と要らや

(算) 一の掛目九百五十交づゝの鉄砲九千五百

八十四箇所り之と五百十二個の箱ヲ納らん

と板平均一箱の重さと云ふ

(算) 或人よ年をとへバ曰く余の年ハ父の年七十五

と母の年九十と乗し祖母の年九十六とて除を

れば九百三十一才とあると云ふ其の人の年

と云ふ

(算) 二十九坪の堤と崩れよ金一圓と要る長さ七

百二十五間高さ六間幅十二間の堤と崩れを費

用と云ふ

(算) 縦八十五丈横百四十四丈の地處へ長一丈七

尺幅一丈五尺の敷物とらんらん何枚と要
まうや

(夏)深さ六尺面積六千四百二十五方尺の池の水

と東西百尺南北一百尺の田に注ぐ時水の深さ幾何

(夏) 723456 x 723456 1728

(夏) 一里に付二百四十人の工夫四十六日間と要

まう 鉄道二千七百五十二里ありこれと毎日

八千二百五十六人の工夫とてあきば何日と

て卒うや

小學校用算書教授書卷之二終

K120.4

明治二十年二月九日
同 年六月

版權免許
出版

定價金拾錢

著者

福岡縣平民

筧 昇三

東京京橋區桶町十五番地

著者兼
出版人

熊本縣士族

辻 敬之

東京下谷區練堀町十四番地

發兌

普及



東京下谷區練堀町十四番地

